



山陰における外科医療の向上、外科医の待遇改善

医学部 教授 日高匡章

島根大学医学部消化器・総合外科は、SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標4「質の高い教育をみんなに」、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」を中心に取り組んでいます。

目標3に関しては、低侵襲手術（腹腔鏡やロボット支援下）を積極的に導入、高齢者に優しい手術を提供しています。また肝移植の再開プロジェクトを通じて、地域医療の向上と患者への高度な医療提供を目指しています。このプロジェクトでは、若手外科医や医療スタッフの育成にも注力し、地域全体の医療水準向上に寄与しています。

目標4に関しては、地域の子どもたちを対象に外科手技体験セミナーを開催し、医療への関心を高める活動を行っています。また内視鏡手術のトレーニングセンターを設立し、学生や研修医に対する実践的な教育を推進しています。

目標5、17の達成に向けて、タスクシフトやチーム制の導入を取り入れており、男女関係なく働きやすい環境づくりを提供していきます。

これらの取り組みを通じて、同教室は持続可能な社会の実現に貢献しています。

